

## 曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

**令和4年度 学校評価中間報告**

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。今年度も、新型コロナウイルス感染症への対応で、教育活動、PTA活動等に制約がある中、皆様の御協力により無事、折り返しを迎えることができました。

さて、当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり (授業改善)」「自己肯定感を育む教育活動 (心の教育)」「思いやり、支え合いの態度を育む教育活動 (心の教育)」「互いに尊重し合う特別支援教育」「自分の生活を見つめ、よりよくしていく健康教育 (健康・体力の向上)」「地域の人、地域にある物を大切に思う総合学習や活動」の6つを重点目標として教育活動に取り組んでまいりました。前期終了及び後期開始を機に、これまでの取組を振り返り学校評価の中間報告をお知らせいたします。

## 1 令和4年度の学校評価報告 (前期)

	評価項目	評価	
授業改善 学力向上	① 職員内部評価「日々の授業で3つのつながり (既習事項・仲間の意見・生活とのつながり) を意識して授業改善に取り組んでいる」で、7学級以上が総合A評価となる。 A 8学級以上 B 4～7学級 C Bに至らない	B	8学級中 4学級 50%
	② 授業の終末や家庭学習などで、学習した内容を振り返る活動をしている割合が80%以上 (※児童アンケート「学んだことを授業日記などでふりかえることができている。') ※前期は1年生を除く。 A 80%以上 B 60%～80% C Bに至らない	A	82.1%
	※参考：昨年度までの評価項目 ・授業中の考え表出の場で、自分の考えを表出している児童の割合。(児童アンケート「授業中進んで発表したり、友だちに考えを伝えたりしている。」「タブレットを使った授業で、自分の考えを発表したり、友だちの考えを見たり、聞いたりすることができている。」2つの合計数値)		78.7%
心の教育 生徒指導	① 自己肯定感・自己有用感について、肯定的な評価をしている児童が80%以上。(※児童アンケート「自分にはよいところがある」「やっていることを先生や友だちに認められて、嬉しいと感じることがよくある」の合計) A 85%以上 B 60%以上～85%未満 C Bに至らない	B	83.9%
	② いじめやトラブルの解決が100%となる。 A 100%以上 B 80%以上～100%未満 C Bに至らない	A	100.0%
特別支援 教育	① ユニバーサルデザインチェックリストを作成し、各学級の達成率が85%以上となる。	A	96.3%

	A 85%以上 B 70%以上～85%未満 C Bに至らない		
	② 「個別の指導計画」の見直しと情報交換及び共通行動を年2回行う。 A 年2回以上 B 1回 C Bに至らない	A	前期まで 2回実施
体力向上	① 児童アンケート「運動が好きだ」の質問項目で、肯定的回答をする児童の割合が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない	A	88.0%
	② 児童アンケート「体育の授業で自分ができることが増えた」の質問項目で、肯定的回答をする児童の割合が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない	A	88.0%

◎ 各評価項目（目標）に対しての達成度は上記のとおりです。後期で、さらに向上を目指すために、職員一丸となって取り組んでまいります。

## 2 具体的な改善策

授業改善 学力向上	① 感染症対策の影響下での授業も3年目となり、授業展開の中で子ども同士を関わらせることについて様々な工夫がなされるようになりました。効果の高い方法とそうではない方法、子どもの実態に合っているものと、そうでないものなど、見極めることに努めています。タブレット端末の活用なども含めた新しい学び方と、以前から効果が実証されている方法を融合させながら、深い学びをめざしていきます。 ② 当校では、授業中だけでなく、家庭学習と連動した授業日記を書くことで、振り返る活動の恒常化を進めています。学習内容を振り返ることは、内容の定着や新たな疑問・課題の創出につながり、学習意欲の喚起につながっていきます。振り返りの効果が高まるように、さらに工夫をしていきます。
心の教育 生徒指導	① コロナ禍であまり実施できていなかった「たてわり活動」が、夏休み後に実施できるようになりました。異学年交流で互いのよさを見つけたり、伝え合ったりする活動を多く取り入れながら、子どもたちの自己肯定感を向上させていきます。 ② いじめやトラブルには、全校体制で取り組んでいます。後期もこの体制で、細かなトラブルも見逃さずに対応し、子どもたちが安心して過ごせる学校にしていきます。気になることについては、些細なことでも御相談ください。また、「特別の教科道徳」との連携や日々の教育活動の中での「心の教育」を進め、トラブルの未然防止に努めます。
特別支援 教育	① 教室環境や授業のUD（ユニバーサルデザイン）化を進めるために、UDに関する「曾根小スタンダード」を作成し、誰もが学びやすい環境を整える努力を進めています。個々の子どもたちの様子を見とりながら改善を図り、個々に寄り添えるようにしていきます。 ② 学級単位では、支援の必要な子どもへの対応を充実させてきました。さらに支援の具体を職員全体で共通理解する機会を充実させ、対象となる子どもの困り感を取り除くように努めます。
体力向上	① 子どもたちが楽しみながら進んで運動に取り組み、全ての子どもが自分から体を動かすことに、抵抗なく親しめるよう、体育授業の改善に取り組んでいきます。 ② 運動技能を伸ばし、すべての子どもが自分なりの達成感が得られるように学習カードや場づくりを工夫しながら、体育授業の改善に努めていきます。

◎ 前期学校評価の詳細なデータ（児童アンケート及び保護者アンケートの集計）は、曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

※10月12日現在、FTPアプリに不具合があり、ホームページを更新できない状態です。復旧次第更新いたします。

※ 裏面に、保護者アンケートの御意見一覧を掲載いたしました。アンケートへの御協力たいへんありがとうございました。

